

# 政治学科

2010

整理番号	科目名	学期	配当年次・単位	担当教員
113	政治学演習α(土屋礼子)	通年	3年以上：4単位	土屋 礼子 政政・経演・国演

## 副題

近代史におけるメディアとプロパガンダ、およびジャーナリズム

## 講義概要

近代日本および欧米におけるメディアの発達の経緯を理解し、検閲制度をはじめとする政府との関係、政治家とジャーナリズムの関係、世論を動かすためのプロパガンダという思想がどのように展開してきたかを、実証的に学び議論するとともに、メディアに対するアプローチのしかた、メディアの分析のしかたなど、基本的な手法を用いた報告を課し、年度末には各自が卒論テーマを見いだせるよう研究をすすめる。

## シラバス (授業計画)

- 第1回：全体的な導入
- 第2回：基本文献（日本語）の輪読（1）
- 第3回：基本文献の輪読（2）
- 第4回：基本文献の輪読（3）
- 第5回：基本文献の輪読（4）
- 第6回：基本文献の輪読（5）
- 第7回：基本文献の輪読（6）
- 第8回：中間のまとめと議論
- 第9回：基本文献（英語）の輪読（1）
- 第10回：基本文献の輪読（2）
- 第11回：基本文献の輪読（3）
- 第12回：基本文献の輪読（4）
- 第13回：基本文献の輪読（5）
- 第14回：基本文献の輪読（6）
- 第15回：前半のまとめと議論
- 第16回：各メディア及び人物の研究に関する導入
- 第17回：各メディア研究報告（1）
- 第18回：各メディア研究報告（2）
- 第19回：各メディア研究報告（3）
- 第20回：各メディア研究報告（4）
- 第21回：各メディア研究報告（5）
- 第22回：各メディア研究報告（6）
- 第23回：中間のまとめと議論
- 第24回：人物研究報告（1）
- 第25回：人物研究報告（2）
- 第26回：人物研究報告（3）
- 第27回：人物研究報告（4）
- 第28回：人物研究報告（5）
- 第29回：人物研究報告（6）
- 第30回：後半のまとめと議論

## 教科書

輪読する基本文献については開講時に指示する。  
前半については、土屋礼子共訳『米国のメディアと戦時検閲』（法政大学出版局）  
後半については、『近代日本メディア人物誌』（ミネルヴァ書房）など。

## 参考文献

随時紹介する。

## 評価方法

毎回の演習への参加および議論への貢献、発表する報告の内容、またそれをまとめたレポートにより評価する。

## 関連URL

## 備考

メディア史に関心のある方で、積極的に議論する方を望みます。